

様式31 道路区域確認のお願い

(土地所有者の氏名又は名称) 様

令和 年(西暦 年) 月 日
札幌市 第 号

札幌市長

印

道路区域確認のお願い

日頃より、本市のまちづくりにご理解とご協力を頂き、有難うございます。

さて、このたび (業務名記入) 測量の結果、 (路線名記入) の道路区域をご確認いただくため、別紙「道路区域確認書」をお送りさせていただきました。内容についてご確認いただきましたら、ご署名・ご捺印のうえご提出くださいますようお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。

記

1. 受託者

会社名
担当者
電話

2. 札幌市担当者

所属
担当者
電話

図中に、確定線に対する既設境界標の誤差量を記入する場合は、事前に担当職員と協議すること。

注1 「道路区域確認書」と図面が別紙の場合には、確認者の書き判又は割印を行って下さい。

注2 境界確認後、「道路区域確認書」添付図面の◎印の位置については、札幌市規格の境界杭を埋設しますのでご了承下さい。

※1 A4版(縦長)とする。

※2 道路区域内の土地が使用承諾済、未処理用地の場合、確認が必要な隣接地に使用する。

令和 年 月 日

(あて先) 札幌市長

<確認者>
住 所
氏 名
土地所有者から見た関係 ()

道 路 区 域 確 認 書

令和 年(西暦年) 月 日付 札幌測 第 号により照会のありました
下記 (路 線 名 記 入) の道路区域界(赤線部)について、別添図の
とおりであることを確認しました。

また、「道路区域確認書」添付図面の◎印の位置については、後日札幌市規格の境界杭を埋
設することを了承いたします。

必要に応じて記入すること。

記 枠内を、あらかじめ記載しておくこと。

対象地	土地の所在・地番	札幌市 区
	土地所有者(名義人)	
隣接地	土地の所在・地番	札幌市 区

※1 A4版(縦長)とする。
※2 本様式の添付図は、登記資料図面等を使用することを標準とする。
※3 道路区域内の土地が使用承諾済、未処理用地の場合、確認が必要な隣接地に使用する。
※4 氏名には、本人の署名又は押印が必要。

令和 年(西暦 年) 月 日
札建測 第 号

（あて先） 局長（市長・区長）
※2（〇〇管理者）

建設局長（市長）
※2（道路管理者）

境界の確認について

このことについて、 （業務名記入） 測量の結果、〇〇
用地（札幌市 区 番 ）と隣接する貴局(区)所管地（札幌
市 区 番 ）との境界を別紙によりご確認下さいますよ
うお願いいたします。

また、隣接する土地所有者全員の境界確認終了後、別添図の◎印の位置に、札幌市
規格の境界杭を埋設することについてご了承ください。

なお、ご不明な点がございましたら、下記担当課へご連絡下さい。

必要に応じて
記入すること。

記

《担当課》
所 属
担当者
電 話

- ※1 A4版（縦長）とする。
- ※2 他部署に対して境界確認する必要がある場合、区別できるようにすること。
（例：下水道管理者、河川管理者、道路管理者）

様式34 境界確認書（市役所内部用）

令和 年 月 日

（あて先）建設局長（市長）
※2（道路管理者）

局長（区長・市長）
※2（〇〇管理者）

境界確認書

令和 年（西暦年） 月 日付 札建測 第 号により照会のありました件について別添図のとおりであることを確認しました。

また、隣接する土地所有者全員の境界確認終了後、別添図の◎印の位置に、札幌市規格の境界杭を埋設することについて了承いたします。

必要に応じて
記入すること。

当局（区）所管地の表示

札幌市 区 番

隣接地

札幌市 区 番

《担当課》

所属

担当者

電話

※1 A4版（縦長）とする。

※2 他部署に対して境界確認する必要がある場合、区別できるようにすること。
（例：下水道管理者、河川管理者、道路管理者）

(土地所有者の氏名又は名称) 様

札幌市長

印

境界杭の埋設について（確認願い）

日頃より、本市のまちづくりにご理解とご協力を頂き、有難うございます。

さて、このたび (業務名記入) 測量の結果、あなた様の所有地 札幌市 区 条 丁目 番 の例①～④

- 例① 境界に打設されておりました仮杭を境界杭に置き換えました
- 例② 境界に打設させていただきました仮杭と同じ位置に、境界杭を設置いたします
- 例③ 境界点に境界杭を設置いたします (いたしました)
- 例④ その他 (担当職員と協議の上作成)

ので、ご確認いただきましたら、別紙「境界杭確認書」にご署名・ご捺印のうえご提出くださいますようお願いいたします。

また、このたび埋設（設置）しました境界杭は、あなた様の所有地と隣接地との境界を示すものですので、関連地権者の皆様とご協力のうえ大切に管理されますようお願いいたします。（該当する境界杭 No. : (例)LM・RM・LK・RK・M・K）

なお、ご不明の点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。

記

1. 受託者

会社名
担当者
電 話

2. 札幌市担当者

所 属
担当者
電 話

市有地の直線上の切合い点に民×民の境界杭を設置する場合に付記すること。

※ A4版（縦長）とする。

令和 年 月 日

(あて先) 札幌市長

<確認者>

住 所

氏 名

土地所有者から見た関係 ()

境 界 杭 確 認 書

令和 年(西暦年) 月 日付 札幌測 第 号により照会のありました例
①～③

例① 境界杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしました。

例② 境界仮杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしましたので、
隣接する土地所有者全員の境界杭確認終了後、別添図に表示された位置に
境界杭を埋設することについて了承いたします。

例③ その他(担当職員と協議の上作成)

～追記例～

このたび確認しました境界杭は、私と関連地権者の責任において管理いたします。
(該当する境界杭 No. : (例)LM・RM・LK・RK・M・K)

市有地の直線上の切合い点に「民×民」の境界杭を設置する場合に付記すること。

記

枠内を、あらかじめ記載しておくこと。

土地の所在・地番	札幌市 区
土地所有者 (名義人)	

注 「境界杭確認書」と図面が別紙の場合には、確認者の書き判又は割印を行って下さい。

※1 A4版(縦長)とする。

※2 氏名には、本人の署名又は押印が必要。

様式37 境界杭の埋設について（市役所内部用）

令和 年(西暦年) 月 日
札建測 第 号

（あて先）局長（区長）
※2（〇〇管理者）

建設局長
※2（道路管理者）

境界杭の埋設について（確認願い）

このことについて、（業務名記入）測量の結果、貴局
（区）所管地（札幌市 区 番）の 例①～④
ので、ご確認下さいますようお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、下記担当課へご連絡下さい。

例① 境界に打設されておりました仮杭を境界杭に置き換えました
例② 境界に打設させていただきました仮杭と同じ位置に、
境界杭を設置いたします
例③ 境界点に境界杭を設置いたします（いたしました）
例④ その他（担当職員と協議の上作成）

記

《担当課》
所 属
担当者
電 話

- ※1 A4版（縦長）とする。
※2 他部署に対して境界確認する必要がある場合、区別できるようにすること。
（例：下水道管理者、河川管理者、道路管理者）

様式38 境界杭確認書（市役所内部用）

令和 年 月 日

（あて先）建設局長
※2（道路管理者）

局（区）長
※2（〇〇管理者）

境界杭確認書

令和 年（西暦年） 月 日付 札建測 第 号により照会のありました
例①～③

- 例① 境界杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしました。
例② 境界仮杭は、別添図のとおり埋設されていたことを確認いたしましたので、隣接する土地所有者全員の境界杭確認終了後、別添図に表示された位置に境界杭を埋設することについて了承いたします。
例③ その他（担当職員と協議の上作成）

～追記例～

このたび確認しました境界杭は、当局と関連地権者の責任において管理いたします。
（該当する境界杭 No. : （例）LM・RM・LK・RK・M・K）

当局（区）所管地の表示
札幌市 区 番

隣接地
札幌市 区 番

市有地の直線上の切合い点に「市×民」の境界杭を設置する場合に付記すること。

《担当課》
所 属
担当者
電 話

注「境界杭確認書」と図面が別紙の場合には、確認者の書き判又は割印を行って下さい。

- ※1 A4版（縦長）とする。
※2 他部署に対して境界確認する必要がある場合、区別できるようにすること。
（例：下水道管理者、河川管理者、道路管理者）

様式39 精度管理表（基準点測量）

【TS等観測】

基準点測量 精度管理表										世界測地系					
業務名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長							
目的		期間		作業量		級基準点 点		主任技術者							
路線番号	測点番号	路線長 (km)	内角数	辺 数	点 検 計 算				偏 心 m	再測数	水平位置（距離）				
					水平位置(m)		標高(m)				単位重量の標準偏差	許容範囲	高低角の標準偏差	許容範囲	
					閉合差	許容範囲	閉合差	許容範囲							
										S=0 T=0 V=0					
										再測率	0%				

点 検 測 量										主要機器名称番号		
測点番号	距 離			水 平 角			鉛 直 角			永久標識の種別等		
	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	点検値	採用値	較差	種別	数量	埋設様式
	m	m	m	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	〇	特 記 事 項		

【GNSS観測】

基準点測量 精度管理表										世界測地系				
業務名		地区名		計画機関名		作業機関名		作業班長						
目的		期間		作業量		級基準点 点		主任技術者						
基線解析辺			仮定三次元網平均						三次元網平均計算			主要機器名称番号		
測 点 名		辺 長 (斜距離)	△X		△Y		△Z		斜距離の偏差					
自：	至：		偏 差	許容範囲	偏 差	許容範囲	偏 差	許容範囲	偏 差	許容範囲	偏 差	許容範囲		
												永久標識の種別等		
												種 別	数 量	埋設様式
新点位置の標準偏差			点 検 測 量						特 記 事 項					
新点名	水平位置		標 高		測点名 自：	測点名 至：	点検値	採用値	較差	較差	測 定 方 法 スタティック			
	標準偏差	許容範囲	標準偏差	許容範囲										

※ A4版、又はA3版（横長）とする。

様式40 精度管理表（境界標）

[illegible]

- ※1 A4版、又はA3版（横長）を標準とする。
※2 境界仮杭設置においても、本様式を準用する。

様式41 写真帳

写 真 帳 (例)

一連番号	
写真	No. 1 保安対策、交通安全対策(工程毎)
写真	No. 2 新設境界点 N 1 材料等 (種類毎)
写真	No. 3 新設境界点 N 1 施工前仮杭
写真	No. 4 新設境界点 N 1 埋設状況
写真	No. 5 新設境界点 N 1 完成状況 背景を入れた仕上り状態

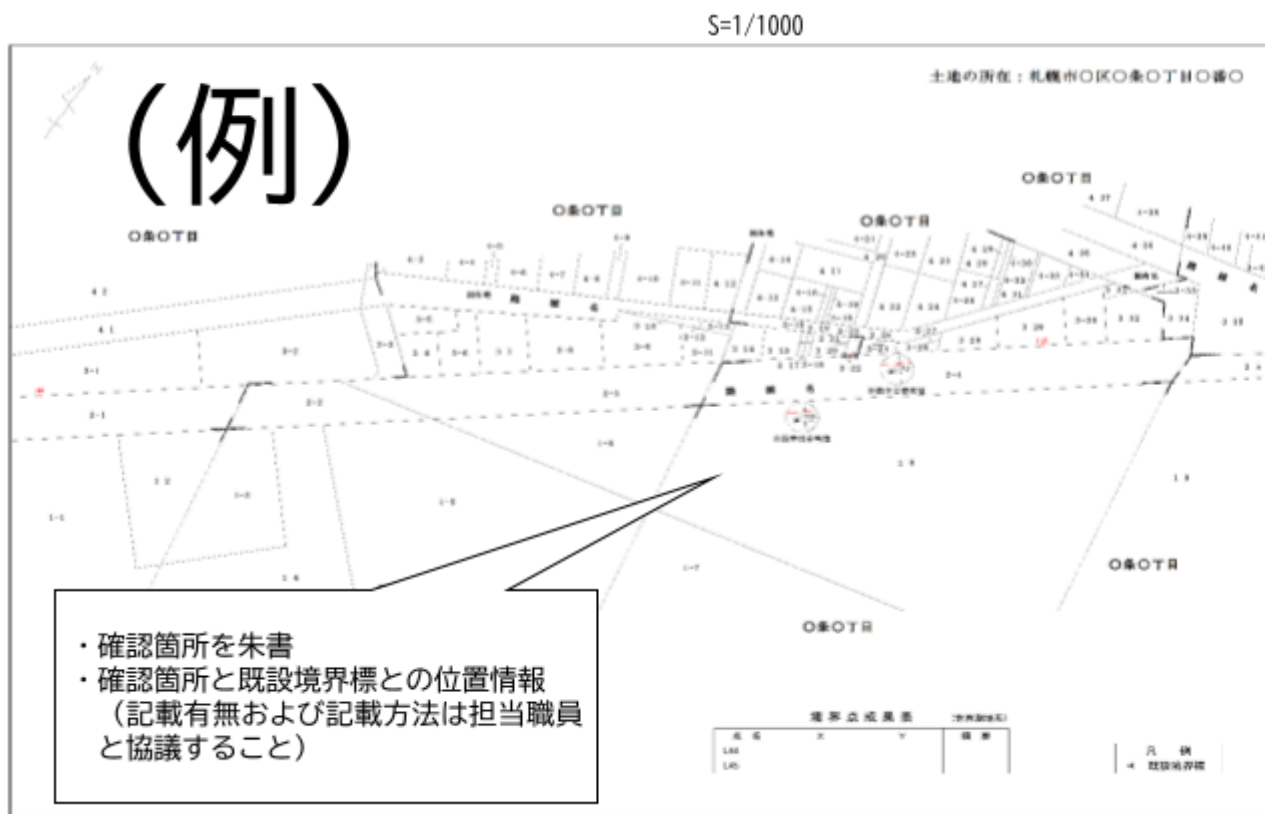
- ※1 デジタル写真を編集し台紙に直接印刷しても可とする。ただし電子納品の場合は形式（JPEG・PDF等）について担当職員と協議すること。
- ※2 ① 保安対策及び交通安全対策（工程毎）
 ② 使用材料（部材寸法・規格チェック、種類毎）
 ③ 施工前（仮杭・全点）
 ④ 一連の埋設状況の写真（掘削・境界杭立込・埋め戻し等、種類毎の代表箇所）
 ⑤ 完成（仕上り状態チェック・全点） の順に整理するものとする。
- ※3 撮影に際しては、点No・日付・業務名等を明記した黑板等（電子を含む）を立て撮影すること。ただし、埋設状況の撮影に際しては、実寸法を明記した掘削断面図を黑板等（電子を含む）に追記し、ロッド・ピンポール・スチールテープ等で確認できるよう撮影すること。

様式42 折衝記録簿

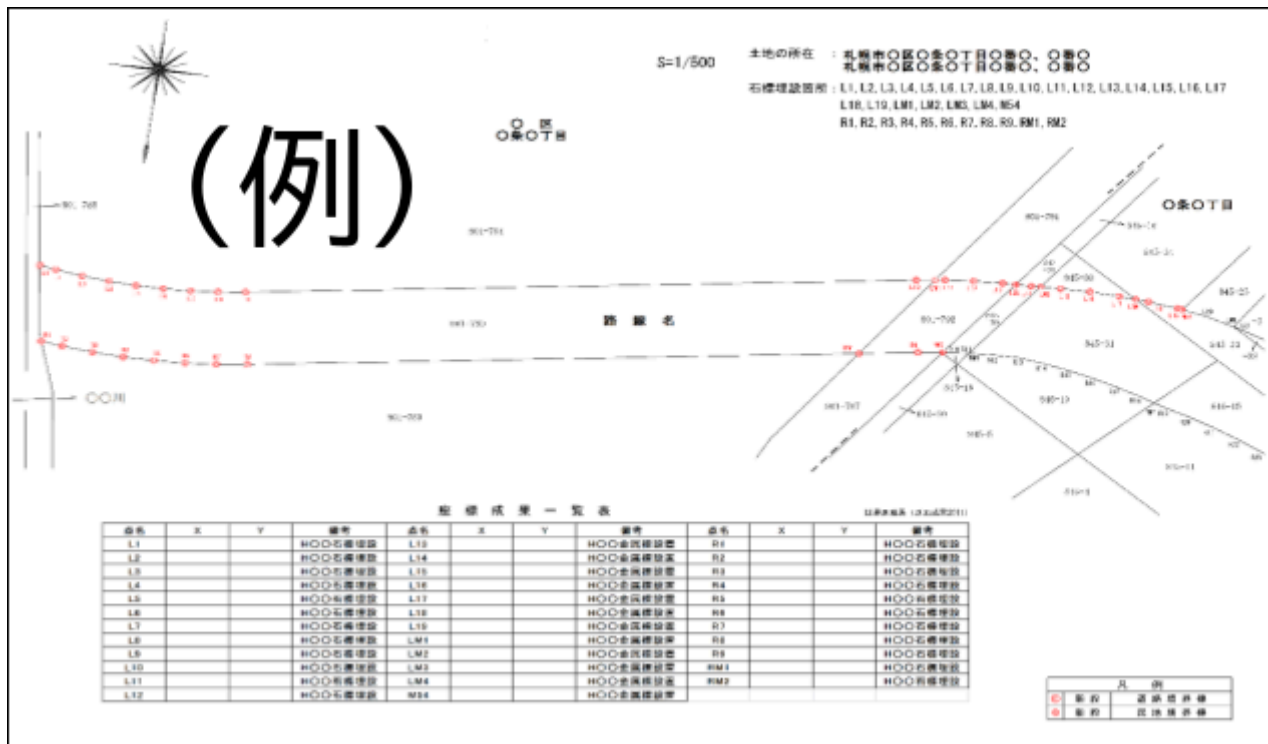
[illegible]

- ※1 別途、登記資料図面等を添付すること。
※2 A4版（縦長）を標準とする。

様式43 土地の位置が分かる図面の一例
【境界確認(線立会)用】



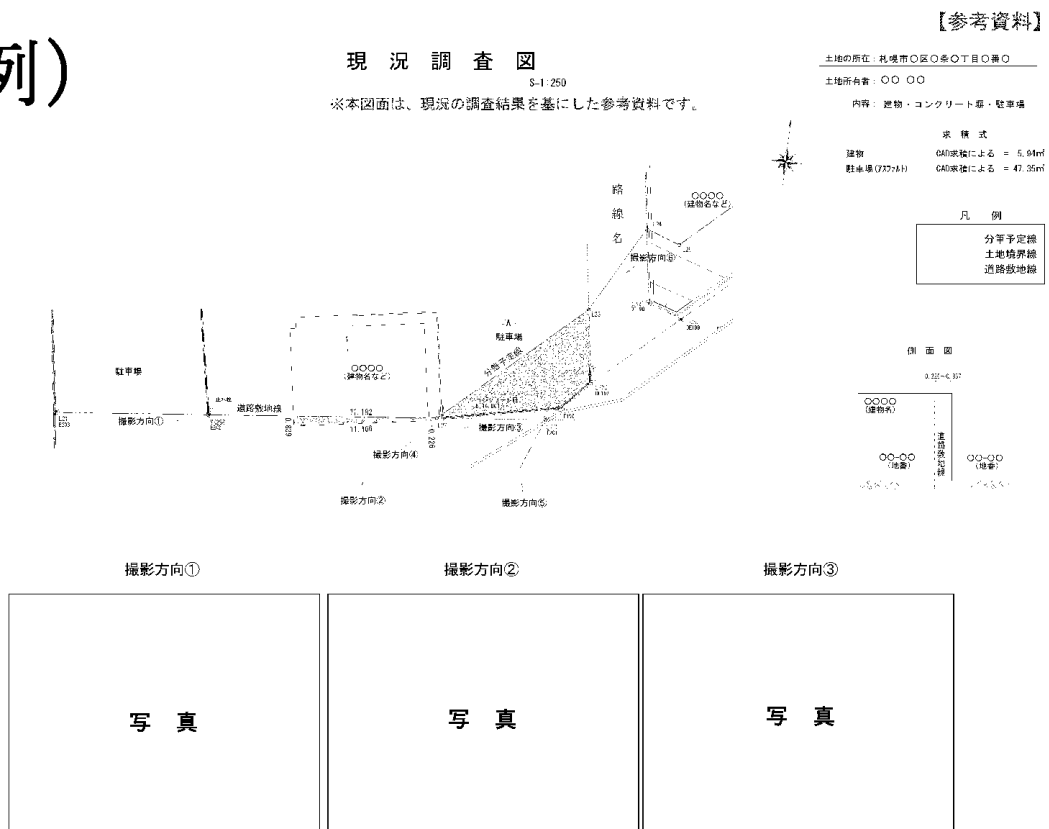
【境界杭確認用】



- ※1 方位、縮尺 凡例、境界点座標値（境界確認書に添付する場合）等を記入する。
 ※2 図面の縮尺は、1/500を標準とする。
 ※3 A4版、又はA3版（横長）を標準とする。

様式44 現況調査図

(例)



- ※1 A 3 版（横長）を標準とする。
- ※2 複数の物件について作成する場合は、位置図（見取図）を作成し、共通の番号を付すこと。
- ※3 境界に近接する構造物については、境界との距離を記載すること。
- ※4 構造物の状況により、必要に応じて側面図も作成すること。
- ※5 その他、現況調査図に記載する対象物の範囲は、担当職員の指示によるものとする。

様式45 境界確認証明書（法務局提出用）

所轄の出張所名を記入

令和 年(西暦年) 月 日
札建測 第 号

札幌法務局（〇〇出張所）長 様

札幌市長 〇 〇 〇 〇 印

隣接土地所有者土地立会及び境界確認証明書

登記の目的を記入

本市の（業務名記入）のため、不動産登記法の規定に基づいての登記申請書に添付した測量図は、下記隣接土地所有者の確認を受けたものであることを証明する。

元地番等を記載

申請対象地： 〇区 〇〇〇〇—〇〇 記

所 在	地 番	登 記 簿 住 所	氏 名
		現 住 所	
		※ 登記簿の住所を記入 ※ 現住所を記入	

※ A4版（縦長）とする。

様式46 登記資料図面一覧表

登 記 資 料 図 面 一 覧 表						
土地の表示		公 簿		土地の所有者	図 種	枚 数
所 在	地番	地目	地積	氏 名		

※ A4版（縦長）とする。

様式47 河川台帳調書

《様式－6》

土地所有者一覧

土地の所在	公簿		土地所有者		取得年月日	前土地所有者名	備考
	地番	地目	氏名または名称	住所			
○区○条○丁目	○○-○○	山林	建設省		H28. 3. 16	札幌市	
〃	○○-○○	原野	建設省		H28. 2. 12	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	雑種地	国土交通省		H28. 2. 12	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	田	国土交通省		H28. 3. 13	〇〇 〇〇 ほか4名	前所有者他4名：〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、 〇〇 〇〇、〇〇 〇〇
〃	○○-○○	雑種地	札幌市		H27. 10. 6	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	宅地	札幌市		H27. 9. 21	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	公衆用道路	建設省		H28. 1. 13	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	宅地	建設省		H27. 9. 21	札幌市	
○区○条○丁目	○○-○○	雑種地	国土交通省		H28. 2. 12	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	雑種地	国土交通省		H28. 1. 29	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	山林	札幌市		H28. 1. 29	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	畑	札幌市		H28. 1. 29	〇〇 〇〇	
〃	○○-○○	畑	建設省		H28. 1. 29	〇〇 〇〇	
○区○条○丁目	○○-○○	宅地	建設省		H27. 11. 1	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇、〇〇-××に分筆 〇〇-〇〇買収
〃	○○-○○	雑種地	国土交通省		H28. 3. 13	〇〇 〇〇 ほか1名	前所有者他1名：〇〇 〇〇

- ※1 河川台帳整備測量実施時に作成すること。
- ※2 河川区域内の土地の現在の土地所有者及び前土地所有者（用地買収前の土地所有者）を収集した土地登記簿より記載すること。
- ※3 作成した一覧表は、仕様書 様式18の「土地所有者一覧表」と同様に、電子納品用のCD-R内に格納すること。

様式48 登記資料図面

地図番号		境界標の種類及び争界点の記号又は点名						地番		登記資料図面	
		種類									
		既設								土地の所在	
		新設									
与点の種類		イ.公共基準点		ロ.国根点		ハ.登記基準点		ニ.			
作成者								申請人		縮尺	

- ※1 作成者欄は記入せず空欄とすること。
- ※2 B4版で作成すること。

様式49 登記資料調書

登 記 資 料 調 書					土 地	
以下のとおり調査をしたので、その結果を報告します。						
令和 年 月 日						
札幌市建設局土木部管理測量課長						
(担当者: 係 〇〇)						
01 登記の目的						
申請番号		事 件 名				
		☐ 表題 ☐ 分筆 ☐ 合筆 ☐ 所在 ☐ 地目 ☐ 地積 ☐ 変更				
		☐ 地図訂正 ☐ 地積測量図訂正 ☐ 土地所在図訂正 ☐ その他() ☐ 更正				
		☐ 表題 ☐ 分筆 ☐ 合筆 ☐ 所在 ☐ 地目 ☐ 地積 ☐ 変更				
		☐ 地図訂正 ☐ 地積測量図訂正 ☐ 土地所在図訂正 ☐ その他() ☐ 更正				
02 調査した土地 (表題登記以外は、申請前の状況を記載すること。)						
申請番号	所 在	地 番	地 目	地 積 (㎡)	第三者の 権利の有無	地積測量図の 有無
					☐ 有	☐ 有
					☐ 無	☐ 無
					☐ 有	☐ 有
					☐ 無	☐ 無
03 所有権登記名義人等						
地 番	所有権登記名義人 (☐ 立会人)					
住 所 (登記記録と異なる場合)						
氏 名						
本人確認方法 ☐ 運転免許証 ☐ 個人番号カード ☐ 面談有り ☐ その他()						
持 分 ☐ 単有 ☐ 共有 (持分)						
連絡先(電話番号等)						
立 会 人						
住 所						
氏 名						
本人確認方法 ☐ 運転免許証 ☐ 個人番号カード ☐ 面談有り ☐ その他()						
所有権登記 名義人との関係 ☐ 親族() ☐ 管理者() ☐ 代表者 ☐ その他()						
連絡先(電話番号等)						
立会・確認状況等 令和 年 月 日 立会・確認						
04 登記原因及びその日付						
申請番号	地 番	原因日付	原 因	登記原因及びその日付の異時点判断理由		

07 現地の状況				☐ 別紙のとおり	
点名	境界標	確認の状況			
	☐ 新設 ☐ 既存 ☐ 復元 ☐ 入替				
遠 景	撮影年月日 備 考	近 景	撮影年月日 備 考		
08 地域区分・精度区分					
地域区分	☐ 市街地地域 (甲2まで) ☐ 村集・農耕地域 (乙1まで) ☐ 山林・農耕地域 (乙3まで)				
地図等の精度区分	☐ 甲1 ☐ 甲2 ☐ 甲3 ☐ 乙1 ☐ 乙2 ☐ 乙3 ☐ なし				
09 境界位置の計測					
基 準 点 別 記 等					
測 地 系	☐ 世界測地系 ☐ 変換パラメータ() ☐ 任意座標()				
使用機器	☐ TS ☐ GNSS ☐ その他()				
観測方法	☐ 放射 ☐ 結合 ☐ 閉合 ☐ 交差 ☐ 単回 ☐ 対回 ☐ 平均 ☐ その他()				
観 測 日	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日				
使用した基本三角点等	点 名	等級・種別	標 識		
補助基準点	点 名	名称・種別	標 識		
恒久的地物	点 名	名称・種別	標 識		
遠 景	撮影年月日 備 考	近 景	撮影年月日 備 考		
基本三角点等に基づく 測量ができない理由					

05 調査資料・証言・事実等		
資料等区分	資料等番号	資料等名
登記簿資料		☐ 土地登記簿
		☐ 土地関係登記簿・関係登記簿
		☐ 建物登記簿
		☐ 建物関係登記簿・関係登記簿
		☐ 地図()
		☐ 地図に準ずる図面()
		☐ 閉鎖地図及び閉鎖地図に準ずる図面
		☐ 地積測量図・土地所在図
		☐ 境界特定関係資料等
		☐ 国土総合図
官公署等資料		☐ 国土総合図附属地図(福祉公園)
		☐ 基準点成果
		☐ その他()
		☐ その他()
		☐ 台帳申告書写し
		☐ 地籍図等
		☐ 国土調査等関係資料
		☐ 道路台帳
		☐ 道路台帳附属地図
		☐ 道路境界確定図等
その他の事実等		☐ 法定外公共物確定協議書等
		☐ 公共用地私下付図等
		☐ 河川法の適用河川境界承認図等
		☐ 換地確定図
		☐ 被災復興区画整理図
		☐ 市中学区
		☐ 農業委員会許可書等
		☐ 基準点成果
		☐ 札幌市道年度事業成果・札幌市境界証明
		☐ その他()
結果 原本確認		☐ 地形地物: 段差・石垣・のり地・崖・沢・道路・水路・尾根・谷・その他
		☐ 工作物: 境界標識・土留め・ブロック塀・コンクリート擁壁・その他
		☐ 境界確認書・立会証明書等
		☐ 変換図面
		☐ 承諾書
		☐ 証言(証言者)
		☐ その他()
		☐ その他()
		☐ その他()
		☐ その他()
06 資料・証言・事実等の分析		
資料等番号	地 番	分析手法、分析結果その他必要な事項
		作成年月日
		求積方法 ☐ 座標法 ☐ 三斜法 ☐ その他()

一筆地測量					
使用機器	☐ TS ☐ GNSS ☐ その他()				
観 測 日	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日				
求積・誤差の許容限度の検証	地 番	登記地積 ㎡	実測面積 ㎡	数 差 ㎡	公 差 ㎡
10 補足・特記事項 (※各欄における特記事項を補足すべき事項等を記録する。)					
11 画像情報 ☐ 別紙のとおり					
撮影年月日 備 考	撮影年月日 備 考				
12 調査図(現地案内図等) ☐ 別紙のとおり					